

米国ウィークリー

“米欧金融政策でリスクオンの展開か？”

リサーチ部 庵原 浩樹 増淵 透吾

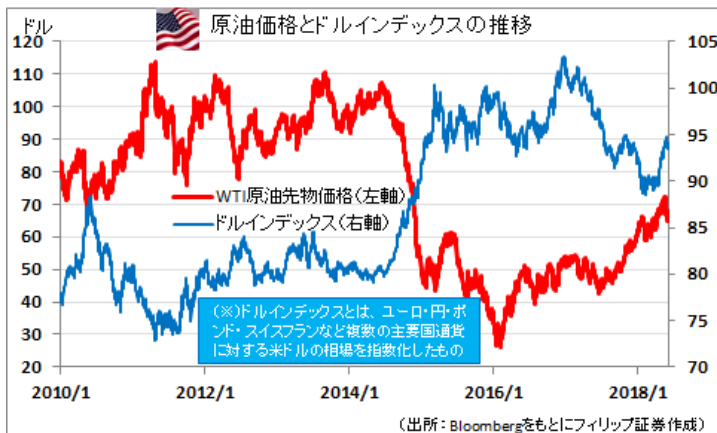
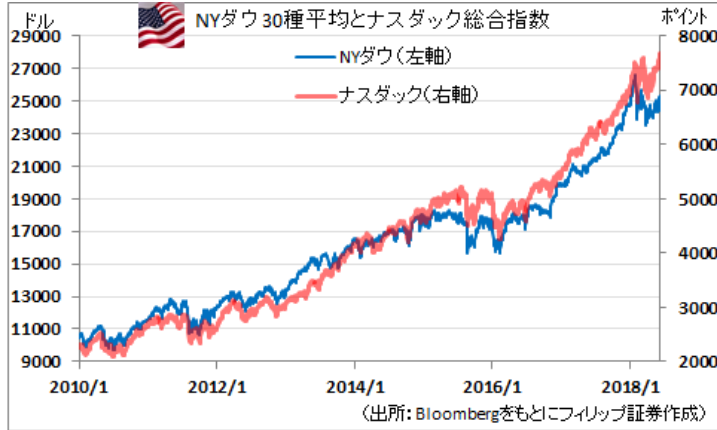
Tel: 03-3666-2101

E-mail: hiroki.hara@phillip.co.jp togo.masubuchi@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

2018年6月12日号(2018/6/11 作成)

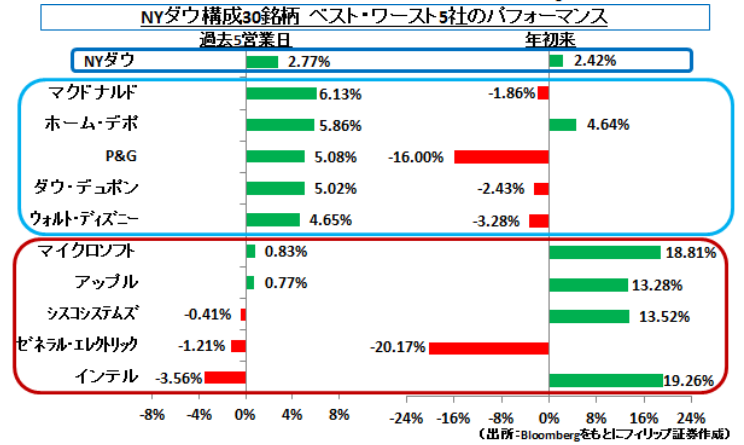
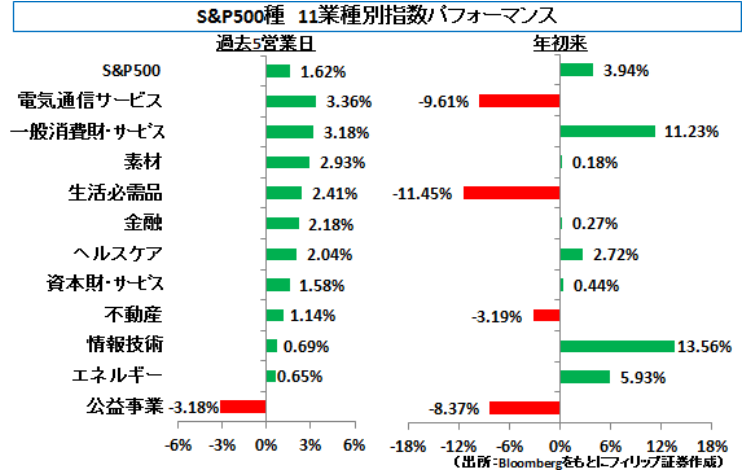
Report type: ウィークリーストラテジー



“米欧金融政策でリスクオンの展開か？”

- 米朝首脳会談に向かうため G7首脳会議を途中退席したトランプ大統領は共同宣言について、「自動車への関税を検討するため、米国の代表団に首脳宣言を承認しないよう指示した」とツイート。議長国カナダのトルドー首相が G7会議閉幕後の記者会見で、「米国の関税は侮辱的だ」と発言したことに対して同大統領は不誠実と批判。G7は、再び協調体制を構築することができなかった。
- 共同宣言には貿易について、「ルールに基づく国際貿易体制の重要性を強調し、引き続き保護主義と闘う。できる限り早く WTO をより公平な組織に近代化することを確認。関税・非関税障壁と補助金の削減に努める。」との文言が盛り込まれていた。トランプ大統領が示唆した自動車の輸入関税については、日本やドイツなどに多大な影響を及ぼす可能性があり、米国に対する報復関税などによる米国の企業や消費などへの影響も懸念されるため、動向を注視したい。
- 6/1より鉄鋼とアルミニウムの輸入関税を適用した EU、カナダ、メキシコのうち、メキシコは米国からの鉄鋼、バーボン、豚肉やリンゴ、ジャガイモなど30億ドル(約3,300億円)規模の輸入品に税率15-25%の報復関税導入を発表。EU はハーレーダビッドソン(HOG)の大型二輪車やリアバイスなど総額64億ユーロ(約8,200億円)、6/20からはこのうち最大28億ユーロ(約3,600億円)、カナダは7/1から最大166億カナダドル(約1.4兆円)の輸入品に報復関税を課すとしている。中長期的には、強まる貿易摩擦への懸念がマーケットの重しとなりそうだ。
- 短期的には、米欧金融政策が相場を押し上げる展開もありそうだ。6/12-13のFOMC では追加利上げがほぼ確実視され、GDP 成長率やインフレなど経済見通しや利上げペースに変更があるか注目される。6/14の ECB の金融政策委員会では、量的緩和の終了時期や2019年の利上げに関する言及があるか注目が集まっている。FOMC で年3回の利上げペース維持となれば、ECB の金融政策出口模索の観測の強まりも相俟って、一旦金利は低下しドル安が進む可能性もあろう。緩やかな米金利上昇、ドル高への警戒が後退し、原油価格の落ち着いた動きが続けば、市場で企業収益への期待が高まることも想定される。5月のインフレ指標(CPI や PPI) や小売売上高の市場予想は、前月から改善が見込まれており、幅広いセクターに資金が流入する展開も想定されよう。(庵原)
- 6/12号ではコティ(COTY)、DowDuPont(DWDP)、ゼネラル・モーターズ(GM)、マイクロソフト(MSFT)、モンスター・ビバレッジ(MNST)、ツイッター(TWTR) 取り上げた。

■S&P500 業種別および NY ダウ構成銘柄の騰落率(6/8 現在)



■主な企業決算の予定

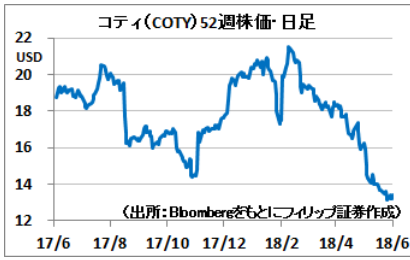
- 6月14日(木): アドビシステムズ

■主要イベントの予定

- 12日(火):
 - ・朝首脳会談(シンガポール)
 - ・FOMC(13日まで)
 - ・ゲーム見本市「E3」(ロサンゼルス、14日まで)
 - ・5月のCPI
 - ・5月の財政収支
- 13日(水):
 - ・FOMC 政策発表、経済予測、パウエル FRB 議長記者会見
 - ・5月のPPI
 - ・IEA 月報
- 14日(木):
 - ・欧州中央銀行(ECB)金融政策会合・ドラギ総裁が記者会見
 - ・5月の小売売上高
 - ・5月の輸入物価指数
 - ・9日終了週の新規失業保険申請件数
 - ・4月の企業在庫
- 15日(金):
 - ・5月の鉱工業生産
 - ・6月のミシガン大学消費者マインド指数(速報値)
 - ・4月の対米証券投資
- 17日(日):
 - ・ダドリー総裁、ニューヨーク連銀での最終日
 - ・コロンビア大統領選挙(決選投票)

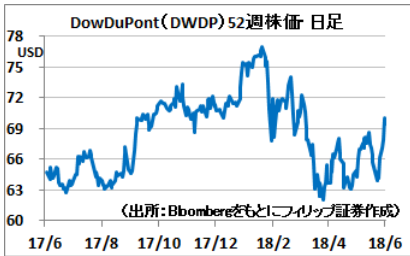
(Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

■ 銘柄ピックアップ



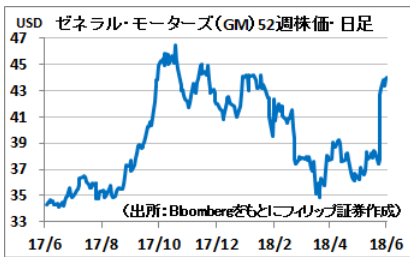
◇ **コティ (COTY) ... 2018/8/21に2018/6期4Q(4-6月)の決算発表を予定**

- ・1904年設立。世界最大の美容企業の1つで、香水のグローバル・リーダー。2017/6期には、P&Gの香水、サロン・プロフェッショナル、化粧品、リテール・ヘアカラーなどの事業を買収した。香水の「CALVIN KLEIN」「MARK JACOBS」、サロン向け「SEBASTIAN」などのブランドを扱う。
- ・2018/6期3Q(1-3月)は、売上高が前年同期比9.4%増の22.22億 USD、純利益が▲0.77億 USD と前年同期の▲1.64億 USD から赤字幅縮小。調整後 EPS は0.13USD と市場予想の0.12USD を上回った。サロン向けや高級ラインが好調。シナジー強化の取り組みも寄与した。
- ・2018/12通期の市場予想は、売上高が前期比23.1%増の94.23億 USD、当期利益は0.23億 USD と前期の▲4.22億 USD から黒字転換する見通し。S&P500種24業種別株価指数の家庭・パーソナル用品は年初来で1割以上上げており、相対的な出遅れ感が意識されよう。(増測)



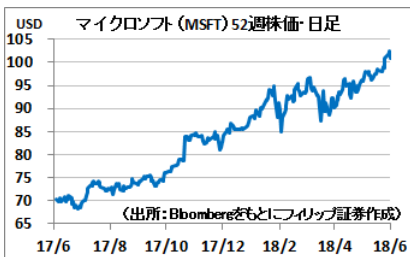
◇ **DowDuPont (DWD) ... 2018/8/21に2018/12期2Q(4-6月)の決算発表を予定**

- ・2017年にダウ・ケミカルとデュボンの経営統合により設立。両社の事業を農業関連、素材化学および特殊化学品の3部門に集約し、それぞれを独立会社化することを目的としている。
- ・2018/12期1Q(1-3月)は、プロフォルマ・ベースで売上高が同5.1%増の215.10億 USD、純利益が同41.4%減の11.09億 USD。調整後 EPS は1.12USD と市場予想の1.09USD を上回った。
- ・2018/12期2Q(4-6月)会社計画は、売上高が中央値ベースで前年同期比14%増の233-240億 USD、EBITDA が同23%増の53-55億 USD。通期市場予想は、売上高が前期比7.4%増の854.53億 USD、当期利益が同3.1倍の85.92億 USD。5/31公表の中期計画では、2019/12期1Q末までに素材化学部門、2019/6までに農業部門のスピンオフが完了する見通し。(増測)



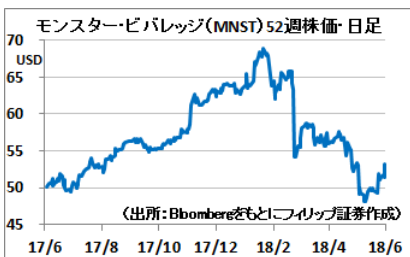
◇ **ゼネラル・モーターズ (GM) ... 2018/7/24に2018/12期2Q(4-6月)決算発表の予定**

- ・1908年設立。自動車、自動車部品の設計・製造・販売のほか金融サービスも提供する。EVから大型フルサイズトラックまで手掛けており、「シボレー」「デュイック」などのブランドを展開。
- ・2018/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比3.1%減の360.99億 USD、純利益は同59.9%減の10.46億 USD だった。調整後 EPS は1.43USD と市場予想の1.23USD を上回った。
- ・2018/12通期の会社計画は、EPS が5.52-5.82USD、調整後 EPS が6.30-6.60USD。通期市場予想は売上高が前期比0.2%増の1,459.41億 USD、当期利益が85.30億 USD と前期の▲38.64億 USD から黒字転換。トランプ政権が検討している乗用車の輸入関税を2.5%から最大25%へ引き上げる案は同社事業には追い風となり、同社株式も物色の対象となろう。(増測)



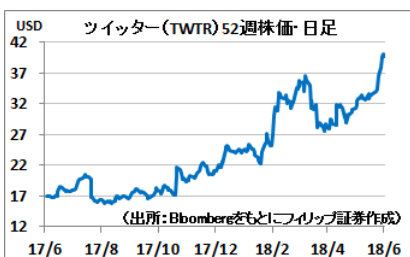
◇ **マイクロソフト (MSFT) ... 2018/7/20に2018/6期4Q(4-6月)の決算発表を予定**

- ・1975年にビル・ゲイツとポール・アレンが設立した PC ソフトウェア会社。個人・企業向けに基本ソフトウェア (OS)をはじめ、サーバー用アプリケーション、ソフト開発ツールなど提供する。
- ・2018/6期3Q(1-3月)は、売上高が前年同期比15.5%増の268.19億 USD、純利益は同35.3%増の74.24億 USD であった。EPS は0.95USD と、市場予想の0.84USD を上回った。
- ・2018/6期4Q(4-6月)会社計画は、プロダクティビティ&ビジネスプロセス部門の売上高が95.5-97.5億 USD、インテリジェントクラウド部門の売上高が89.5-91.5億 USD、モアパーソナルコンピューティング部門の売上高が103-106億 USD。2018/6通期の市場予想は、売上高が前期比13.4%増の1,095.22億 USD、当期利益が同34.6%減の166.77億 USD。同社は、ソフトウェア開発者向けサイトを運営するギットハブを、75億 USD の株式交換で買収する。(増測)



◇ **モンスター・ビバレッジ (MNST) ... 2018/7/24に2018/12期2Q(4-6月)の決算発表を予定**

- ・1969年設立の持株会社。子会社を通じ、「Monster Energy」「Burn」「NOS」「Full Throttle」「Relentless」「Mutant」「Mother」などのブランドでエナジードリンク等の清涼飲料を提供する。
- ・2018/12期1Q(1-3月)は売上高が前年同期比14.7%増の8.50億USD、純利益が同21.4%増の2.16億USD。EPS は0.38USDと市場予想の0.39USDを下回った。会計基準の変更に伴うコカ・コーラとの出資契約に基づく手数料計上により、売上高が990万USDの負の影響を受けた。
- ・2018/12通期市場予想は、売上高が前期比11.6%増の37.49億 USD、当期利益が同18.93%増の9.75億 USD である。5/30に同社は、5億 USD を上限とする自社株買いを発表。(増測)



◇ **ツイッター (TWTR) ... 2018/7/27に2018/12期2Q(4-6月)決算発表の予定**

- ・2007年設立。リアルタイムで会話や自己表現ができるグローバルプラットフォーム「Twitter」や、ライブ配信アプリ「Periscope」を提供する。Twitter の投稿は会員以外にも公開されており、情報配信のプラットフォームとして BBC や CNNをはじめ世界の報道機関に利用される。
- ・2018/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比21.3%増の6.64億 USD、純利益が6,099万 USD と前年同期の▲6,155万 USD から黒字転換。調整後 EPS は0.16USD と市場予想の0.11USD を上回った。平均日中アクティブユーザー数 (DAU) は前年同期から10%伸びた。
- ・2018/12期2Q(4-6月)の会社計画は、調整後 EBITDA が2.45-2.65億 USD、調整後 EBITDA マージンが37-38%。通期市場予想は、売上高が前期比18.7%増の29.01億 USD、当期利益が2.18億 USD と黒字転換の見通し。同社は6/7より S&P500種構成銘柄に採用された。(増測)

(※) 決算発表の予定は 6/8 現在であり、変更される可能性があります。



フィリップ証券株式会社

Member of PhillipCapital Group

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第127号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

【留意事項】

- 上場有価証券等のお取引の手数料は、国内株式の場合は約定代金に対して上限1.242%(消費税込)(ただし、最低手数料2,160円(消費税込)、外国取引の場合は円換算後の現地約定代金(円換算後の現地約定代金とは、現地における約定代金を当社が定める適用為替レートにより円に換算した金額をいいます。)の最大1.08%(消費税込)(ただし、対面販売の場合、3,240円に満たない場合は3,240円、コールセンターの場合、1,944円に満たない場合は1,944円)となります。
- 上場有価証券等は、株式相場、金利水準等の変動による市場リスク、発行者等の業務や財産の状況等に变化が生じた場合の信用リスク、外国証券である場合には為替変動リスク等により損失が生じるおそれがあります。また新株予約権等が付された金融商品については、これらの権利を行使できる期間の制限等があります。
- 国内金融商品取引所もしくは店頭市場への上場が行われず、また国内において公募、売出しが行われていない外国株式等については、我が国の金融商品取引法に基づいた発行者による企業内容の開示は行われていません。
- 金融商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので、お取引に際しては、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書又はお客様向け資料をよくお読みください。

【免責事項】

- この資料は、フィリップ証券株式会社(以下、「フィリップ証券」といいます。)が作成したものです。
- 実際の投資にあたっては、お客様ご自身の責任と判断においてお願いいたします。
- この資料に記載する情報は、フィリップ証券の内部で作成したか、フィリップ証券が正確且つ信頼しうると判断した情報源から入手しておりますが、その正確性又は完全性を保証したものではありません。当該情報は作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。この資料に記載する内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- この資料を入手された方は、フィリップ証券の事前の同意なく、全体または一部を複製したり、他に配布したりしないようお願いいたします。

WEB